

# 令和5年度 第4回富里市地域公共交通会議 会 議 録

日 時 令和6年1月29日（月）午後1時30分  
場 所 すこやかセンター2階 総合健診室

（委員）

（敬称略）

所 属	氏 名	出 欠
富里市 副市長	山根 康夫	○
富里市 総務部長	粕谷 幸夫	○
富里市 企画財政部長	鈴木 隆次	×
富里市 健康福祉部長	藤田 明美	○
富里市 経済環境部長	長谷川 敏彦	×
富里市 都市建設部長	相川 裕史	○
富里市 教育部長	鳥海 雅弘	○
千葉交通株式会社 取締役	河合 俊彦	○
ジェイアールバス関東株式会社成田空港支店長	太田 治彦	【代理】飯塚
京成タクシー成田株式会社 取締役社長	藤倉 孝一	【代理】高橋
千葉交通労働組合 書記長	伊藤 賢	×
一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	×
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	小林 聡	○
千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班班長	小松 直人	【代理】成松
成田警察署 交通課課長	後藤 潤	【代理】西山
公募市民	寺井 繁樹	○
公募市民	岡野 肇	○
公募市民	押尾 勝好	○
富里市区長会 理事	長谷川 英利	×
富里市シルバークラブ連合会 会長	高橋 保夫	×
富里市PTA連絡協議会	加瀬 里奈	×
日本大学理工学部 教授	轟 朝幸	×
日本大学理工学部 教授	伊東 英幸	○
成田国際空港株式会社 地域共生部長	高梨 弘子	【代理】築比地
富里市社会福祉協議会 会長	宮川 朱実	○

《事務局》

- ・ 富里市企画財政部経営戦略課：原課長、藤田課長補佐、太田副主幹、渋谷主査補



《配布資料》

- ・ 次第、委員名簿、席次
- ・ 資料 1 - 1 : デマンド交通キャロリン号に関する調査票
- ・ 資料 1 - 2 : 富里市デマンド交通キャロリン号に関する調査結果報告書
- ・ 資料 2 : 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価 (案) について
- ・ 資料 3 - 1 : 富里市地域公共交通会議設置規約の改正について
- ・ 資料 3 - 2 : 富里市地域公共交通会議設置規約 (案)
- ・ 資料 3 - 3 : 富里市地域公共交通会議分科会規程 (案)
- ・ 資料 4 : 富里市デマンド交通キャロリン号ドア・ツー・ドア方式の事業評価 (案) について
- ・ 資料 5 : 今後の会議スケジュールについて
- ・ 資料 6 : 令和 5 年 1 2 月議会一般質問答弁要旨

次 第

➤ 令和 5 年度第 4 回富里市地域公共交通会議

1 開 会

2 挨拶

3 報告事項

富里市デマンド交通キャロリン号利用者アンケートについて・・・資料 1-1、  
1-2

4 報告事項

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価 (案) について・・・資料 2
- (2) 富里市地域公共交通会議設置規約の改正 (案) について・・・資料 3-1、  
3-2、3-3
- (3) 富里市デマンド交通ドア・ツー・ドア方式の事業評価 (案) について・資料 4

5 その他

- (1) 今後の会議スケジュールについて・・・資料 5
- (2) 令和 5 年度第 4 回富里市議会定例会一般質問について・・・資料 6

6 閉 会



## 1 開 会

- 事務局が開会を宣言。
- 富里市地域公共交通会議傍聴規程に基づき、傍聴者4名入室。

## 2 挨拶

- 会長挨拶



## 3 報告事項

富里市デマンド交通キャロリン号利用者アンケートについて  
(資料1-1、1-2により事務局が説明)

### 【意見概要】

資料1-2、9ページの間4で、もっと高くてもよいと回答された方で、500円加算が最も多く寄せられたとのことだが、これは料金が500円までなら良いということか、それとも現在の料金プラス500円という意味か。

### 【事務局】

料金を高くしてもよいと回答された方で、現在の料金プラス500円と回答いただいた方が最も多かったということです。



#### 4 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について

（資料 2 により事務局が説明）

(2) 富里市地域公共交通会議設置規約の改正（案）について

（資料 3-1、3-2、3-3 により事務局が説明）

(3) 富里市デマンド交通ドア・ツー・ドア方式の事業評価（案）について

（資料 4 により事務局が説明）

#### 【決定事項】

(1)、(2)、(3) が承認された。また、ドア・ツー・ドア方式の本格運行については時間をかけて検討する必要があることから、次回会議において改めて会議に諮ることとし、引き続き委員からの意見を募ることとし



#### 【意見概要】

(1) ○乗合率の現状についてどのように捉えているか。また、乗合率向上に向けて取り組んでいる事はあるか。

○利用者数が右肩上がりで伸びているようだが、市民への働きかけで工夫をしていることはあるか。

(3) ○デマンド交通は1人で乗り降りできる方を対象としていたはずだが、要介護認定の方や障害がある方も利用できるのか。

#### 【事務局】

(1) ○乗合率は現状、車両1台当たりの乗車人数が平均1.2~1.3人の間で推移している。予約受付のオペレーターには、積極的に乗合となるよう案内をしていただいている。また、AIを活用した運行管理システ



ムを導入しており、システムの画面でも乗合となる予約候補が表示されるようになっているが、なかなか乗合率が向上しない状況であることから、他の自治体の事例等を参考に改善に努めていく。

○市民への周知として、市公式ホームページや SNS 等を活用した周知を行っている。また、ロゴマークや愛称の決定など、市民に親しんでいただける取組を行ったことが、市民に認知されてきている要因の一つと考える。

(3)○デマンド交通は、原則 1 人で乗降できる方を対象としているが、介助人の助けがあれば乗降できる場合は、介助人が同乗することを条件として利用を認めており、一部福祉交通の対象者もカバーしている。

## 5 その他

- ・事務局から資料 4（今後の会議スケジュール）及び資料 5（令和 5 年第 6 回富里市議会定例会一般質問について）を説明。
- ・千葉運輸支局より「ドライバーの魅力発信」のプレスリリースについて紹介。

## 6 閉 会

-以上

